

道路、交通及び通信

(123) 字別交通安全施設の設置状況(各年共3月末現在)

(単位:基、ヶ所)

幹線道路網 本市の西側を縦断している国道58号は、沖縄の主要幹線道路で那覇市から沖縄本島を西海岸に沿って北は国頭村の奥部落まで延びている。本市の東側を通過している県道241号線は、那覇市首里から西原入り口まで延び、そのまま国道330号と連結している。また、本市の中央を縦断する国道330号は、国道58号、県道241号線等の交通渋滞を緩和するために造られたバイパスである。その他に仲間、安波茶を軸として県道153号線が那覇市首里～牧港を結び、本市を横断している県道38号線は屋富祖と前田を結び、国道58号と県道241号線に連結している。また国道58号と国道330号の間を通過している県道251号線(旧パイプライン線)は、内間から伊祖、牧港及び宜野湾市を結ぶ幹線となっている。

道路概況 平成19年3月31日現在の道路数は、国道が2、県道が4、市道が558の計564となっている。また、道路総延長は約184キロメートルで、その総面積が約207.6万平方メートルである。延長舗装率は95.7%となっている。

橋りょう 平成19年3月31日現在の橋りょう数は、国道10、県道10、市道29の計49橋で、その総延長が1,983メートルとなっている。この内訳は、国道669メートル、県道744メートル、市道570メートルである。

年 度	道 路 反 射 鏡 (市道) 基	信 号 機 (基)	横 断 歩 道 橋 (ヶ所)
平成15年度	631	105	9
16	821	105	9
17	839	107	17
18	845	108	15
19	854	111	15
20	868	115	16

資料: 沖縄県警察本部「交通白書」

(122) 道路及び橋りょう現況(各年共3月末現在)

(単位: m²、m、%)

区 分	平 成 17 年				平 成 18 年				平 成 19 年				
	総 数	国 道	県 道	市 道	総 数	国 道	県 道	市 道	総 数	国 道	県 道	市 道	
路 線 数	564	2	4	558	564	2	4	558	564	2	4	558	
総 面 積 (m ²)	2,066,530	486,763	340,137	1,239,630	2,073,041	486,763	342,536	1,243,742	2,076,001	486,763	342,548	1,246,690	
総 延 長 (m)	184,008	11,986	18,470	153,552	183,969	11,986	18,470	153,513	184,149	11,986	18,650	153,513	
砂 利 道 延 長 (m)	875	-	-	875	875	-	-	875	875	-	-	875	
セメント系舗装延長(m)	1,060	128	8	924	1,058	128	8	922	1,058	128	8	922	
簡易舗装延長(m)	44,476	-	1,673	42,803	44,361	-	1,705	42,656	43,632	-	976	42,656	
高級舗装延長(m)	131,561	11,858	15,548	104,155	131,640	11,858	15,516	104,266	131,577	11,858	16,245	103,474	
延長舗装率(%)	96.2	100.0	93.3	96.3	96.2	100.0	93.3	96.3	95.7	100.0	92.4	95.8	
総 数	橋りょう数	46	10	7	29	49	10	10	29	49	10	10	29
	延長(m)	1,562	721	271	570	1,983	669	744	570	1,983	669	744	570
永 久 橋	橋りょう数	46	10	7	29	49	10	10	29	49	10	10	29
	延長(m)	1,562	721	271	570	1,983	669	744	570	1,983	669	744	570
木 橋	橋りょう数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	延長(m)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ず い 道	橋りょう数	2	2	-	-	2	2	-	-	2	2	-	-
(トンネル)	延長(m)	228	228	-	-	228	228	-	-	228	228	-	-

(注)・ずい道は西原トンネル、伊祖トンネルを計上した。

・県道については、平成14年までの数字と大きく変化があるが、これは市道から昇格した県道那覇宜野湾線(パイプライン線)の数値が平成14年までの数値に含まれていなかったことによるものであり、今回追加、修正した。

(注)市道の延長舗装率は、セメント系・簡易・高級舗装延長を実延長距離(平成17年は148,757m)で除して得た数値である。

資料: 南部国道事務所
中部土木事務所
道路課

バス 鉄軌道のない本県における公共輸送機関は、バス・タクシーであり、その中でもバスは県民生活に欠くことのできない輸送機関で、県民の足として重要な役割を果たしている。

(124) バスの運行状況 (各年共4月1日現在)

(単位:回)

年次	路線数	停留所数	1日運行回数				
			総数	琉球バス交通	沖縄バス	東陽バス	那覇バス
平成16年	39	59	850	499	171	110	70
17	40	59	846	495	171	110	70
18	40	59	843	492	171	110	70
19	40	59	877	492	206	110	69
20	42	83	925	506	239	104	76

(注) 那覇バスの項は平成16年までは那覇交通の運行状況資料: 琉球バス交通、沖縄バス、東陽バス、那覇バス

(125) バス路線別、運行間隔及び1日運行回数 (平成20年4月1日現在)

(単位:分、回)

路線名	会社名	市内經由地	始点	終点	運行間隔(分)	一日回数
屋慶名線	琉球バス交通	勢理客 ~ 牧港	那覇	屋慶名	20~40	31
長田具志川線	"	勢理客 ~ 牧港	那覇	具志川	30~60	39.5
謝苺線	"	勢理客 ~ 牧港	那覇	具志川	20~40	27
読谷線(喜名)	"	勢理客 ~ 牧港	那覇	読谷	-	3
読谷線(コンベンション)	"	勢理客 ~ 牧港	那覇	読谷	-	4
読谷線(楚辺)	"	勢理客 ~ 牧港	那覇	読谷	10~20	27
名護西線	"	勢理客 ~ 牧港	那覇	名護	-	3
具志川線	"	勢理客 ~ 牧港	那覇	具志川	10~15	82
知花線	"	沢岬 ~ 浅野浦	那覇	具志川	15~30	57
琉大線	"	沢岬 ~ 浅野浦	我那覇	琉大北口	20~40	33.5
浦添線(浦西団地折返)	"	内間 ~ 浦西団地東口	伊良波	浦西団地東口	15~30	42
浦添線(西原折返)	"	内間 ~ 西原	伊良波	西原	-	2
牧港線	"	内間 ~ 牧港	我那覇	宜野湾	30~50	26
国体道路線	"	沢岬 ~ 牧港	那覇	具志川	-	10
名護西空港線	"	勢理客 ~ 牧港	那覇空港	名護	15~30	21
宜野湾線	"	沢岬 ~ 浅野浦	我那覇	宜野湾	-	5.5
天久新都心線	"	勢理客 ~ 牧港	具志三丁目	宜野湾	20~40	34
具志川おもろまち線	"	勢理客 ~ 牧港	おもろまち	具志川	-	13
知花おもろまち線	"	沢岬 ~ 浅野浦	おもろまち	具志川	-	11
屋慶名おもろまち線	"	勢理客 ~ 牧港	おもろまち	屋慶名	-	5
読谷おもろまち線	"	勢理客 ~ 牧港	おもろまち	読谷	-	6
謝苺おもろまち線	"	勢理客 ~ 牧港	おもろまち	具志川	-	3
宜野湾おもろまち線	"	沢岬 ~ 浅野浦	おもろまち	宜野湾	-	4
琉大おもろまち線	"	沢岬 ~ 広栄	おもろまち	琉大北口	-	4
こどもの国宮里線	"	勢理客 ~ 牧港	那覇	具志川	20~40	12
屋慶名線	沖縄バス	勢理客 ~ 牧港	那覇	屋慶名	20~60	30.5
屋慶名線(おもろまち)	"	勢理客 ~ 牧港	那覇	屋慶名	-	13
読谷線(楚辺)	"	勢理客 ~ 牧港	那覇	読谷	10~15	27
読谷線(コンベンション)	"	勢理客 ~ 牧港	那覇	読谷	-	4
読谷線(喜名)	"	勢理客 ~ 牧港	那覇	読谷	-	3
読谷線(おもろまち)	"	勢理客 ~ 牧港	那覇	読谷	-	6
名護東線(辺野古)	"	勢理客 ~ 牧港	那覇	名護	30	22
名護西線	"	勢理客 ~ 牧港	那覇	名護	15~20	3.25
与勝線	"	勢理客 ~ 牧港	那覇	屋慶名	20~40	22
名護西空港線	"	勢理客 ~ 牧港	空港	名護	-	20.75
与那城線	"	勢理客 ~ 牧港	那覇	屋慶名	-	11.5
コンベンションセンター線	"	勢理客 ~ 牧港	那覇	真志喜	10~55	36
てだこ線	"	勢理客 ~ 経塚	那覇	経塚	-	34
てだこおもろまち線	"	勢理客 ~ 経塚	那覇	経塚	-	6
泡瀬西線	東陽バス	勢理客 ~ 牧港	那覇	泡瀬営業所	10~30	60
城間線(南風原)	"	第一経塚 ~ 屋富祖	馬天	屋富祖	-	17
城間線(一日橋)	"	第一経塚 ~ 屋富祖	馬天	屋富祖	30~60	27
普天間空港線	那覇バス	広栄団地入口 ~ 幸地入口	空港	普天間	10~60	27
琉大線	"	幸地入口 ~ 西原入口	那覇BT	琉大北口	15~30	40
糸満西原線	"	幸地入口 ~ 西原入口	糸満	西原	10~60	9

資料: 琉球バス交通、沖縄バス、東陽バス、那覇バス

自動車 本県では、自動車が唯一の陸上交通手段であり、近年における生活水準の向上や生活圏の拡大、モーターレーゼーションの進展等によって年々増加してきたが、平成13年度以降、登録自動車総数は減少傾向にある。

(126) 登録自動車台数(各年度共3月末現在)

(単位:台)

区分 年度	業態	登録 自動車 総数	貨物用			乗合用		乗用		特種(殊)用途用	
			普通車	小型車	被けん 引車	普通車	小型車	普通車	小型車	特種 用途車	大型 特殊車
平成15年度	自家用	41,616	2,067	5,095	8	22	73	9,426	23,474	1,361	90
	事業用	1,814	590	61	367	1	2	11	585	193	4
	合計	43,430	2,657	5,156	375	23	75	9,437	24,059	1,554	94
平成16年度	自家用	40,859	2,110	4,954	8	21	78	9,448	22,787	1,329	124
	事業用	1,819	598	67	370	2	3	13	582	184	0
	合計	42,678	2,708	5,021	378	23	81	9,461	23,369	1,513	124
平成17年度	自家用	39,947	2,182	4,822	8	19	78	9,383	22,020	1,314	121
	事業用	1,928	660	86	384	3	2	20	584	189	0
	合計	41,875	2,842	4,908	392	22	80	8,403	22,604	1,503	121
平成18年度	自家用	38,142	2,164	4,538	10	20	83	8,931	20,946	1,331	119
	事業用	2,024	689	80	439	3	3	20	594	196	0
	合計	40,166	2,853	4,618	449	23	86	8,951	21,540	1,527	119
平成19年度	自家用	36,611	2,113	4,390	9	22	79	8,588	19,941	1,360	109
	事業用	2,090	748	78	438	3	3	20	597	203	0
	合計	38,701	2,861	4,468	447	25	82	8,608	20,538	1,563	109

資料:沖縄総合事務局陸運事務所「業務概況」

(127) 届出自動車保有台数(各年度共3月末現在)

(単位:台)

区分 年度	総数	小型 二輪車 250cc以上	軽自動車(660cc以下)			小型特殊車 (農耕用・ その他のもの)	原動機付自転車		
			二輪車 250cc以下	貨物車	乗用車		50cc 以下	90cc 以下	125cc 以下
平成16年度	42,917	1,055	2,159	8,959	20,260	18	7,995	1,224	1,247
平成17年度	45,530	1,127	2,370	9,038	22,355	18	8,053	1,199	1,370
平成18年度	44,262	1,063	2,083	8,252	21,924	19	8,205	1,133	1,583
平成19年度	50,722	1,182	2,833	9,172	26,340	19	8,333	1,077	1,766

(注) 50cc以下には、ミニカーを含む。

資料:沖縄総合事務局陸運事務所「業務概況」

原動機付自転車には、軍人軍属の所有台数を含まない。

市民税課

電 話 電話は遠・近距離へ手軽に利用できる伝達・通信手段として普及してきたが、近年、情報処理・情報通信技術の急激な発展により、携帯・自動車電話、PHS、インターネットサービスなどによる通信が急速に普及するとともに通信媒体も多様化している。こうした中で、従来の住宅用及び事務用の加入電話、公衆電話は減少傾向にある。(平成18年度の県内の携帯・自動車電話契約数は890,422件、PHS51,330件、ISDN53,282件で、加入電話数445,755件を大幅に上回っている。資料：平成20年版沖縄県統計年鑑)

郵便 本市には、平成20年3月31日現在で12局の郵便局がある。その内訳は、普通局1、無特局11、また1局当りの利用人口は、0.9万人、人口1万人当りの切手・印紙類販売所は7.5ヶ所、同ポスト数は9.3箱となっている。

(128) 電話施設の概況(各年度共3月末現在)

(単位：戸、回線数) (130) 市別郵便利用普及状況(平成20年3月末現在)

年度	世帯数 (A)	総数 (B)	加入電話			公衆電話 街頭公衆	普及率 B ×100 A	市別 人口 (万人)	窓 口 機 関					郵便切手類 販売所		郵便ポスト		
			総数	住宅用	事務用				総数	郵便局	分室	簡易局	利一用局 人当り 口り (万人)	所数	人口 当り 万人 所数	箱数	人口 当り 万人 箱数	
平成13年度	37,656	38,813	38,386	28,438	9,948	427	103.1											
14	38,092	38,335	37,989	28,524	9,465	346	100.6											
15	38,796	38,214	37,886	28,791	9,095	328	98.5	沖縄県	108	200	180	1	20	0.5	1,515	14.0	1,622	15.0
16	39,504	37,234	36,938	28,364	8,574	296	94.3	那覇市	31	40	40	-	-	0.8	331	10.7	349	11.3
17	40,384	33,552	33,299	25,529	7,770	253	83.1	うるま市	12	16	11	-	5	0.8	84	7.0	108	9.0
18	41,146	31,103	30,861	23,693	7,168	242	75.6	宜野湾市	9	10	10	-	-	0.9	77	8.6	73	8.1
19	41,960	27,995	27,766	21,142	6,624	229	66.7	宮古島市	6	13	10	-	3	0.5	99	16.5	74	12.3
								石垣市	5	8	8	-	-	0.6	93	18.6	85	17.0
								浦添市	11	12	12	-	-	0.9	82	7.5	102	9.3
								名護市	6	10	9	-	1	0.6	91	15.2	94	15.7
								糸満市	6	9	8	-	1	0.7	50	8.3	51	8.5
								沖縄市	13	13	13	-	-	1.0	106	8.2	108	8.3
								豊見城市	5	4	4	-	-	1.3	35	7.0	38	7.6
								南城市	4	9	4	-	5	0.4	45	11.3	58	14.5

資料：NTT西日本 沖縄支店

(注)人口は、沖縄県市町村課の住民基本台帳人口による。(千の位を四捨五入) 資料：郵便事業株式会社沖縄支社 郵便局株式会社沖縄支社

(129) 郵便物数の推移(各年度共3月末現在)

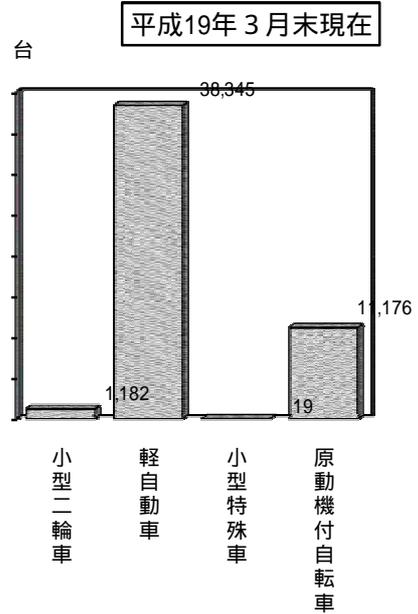
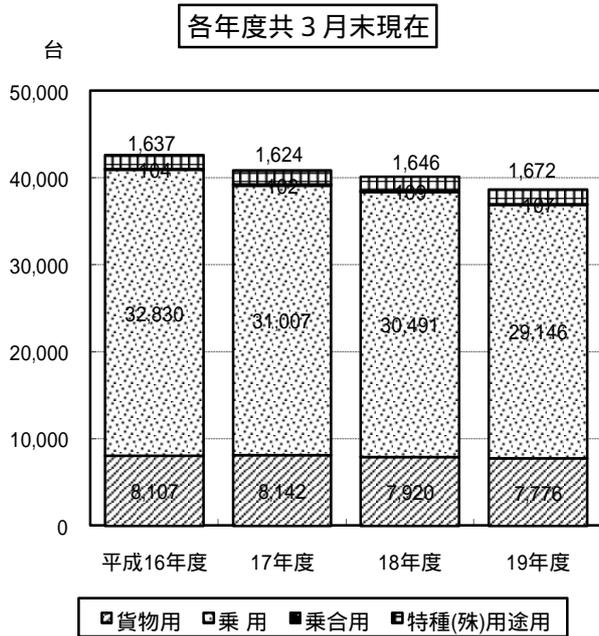
年度	引 受 郵 便 物							配 達 郵 便 物									
	総数	通常郵便物(通)			小包郵便物(個)			総数	通常郵便物(通)			小包郵便物(個)					
		一日平均	計	普通	書留	計	普通		書留	一日平均	計	普通	書留	計	普通	書留	
平成14年度	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
15	9,522,632	26,089	9,353,815	9,211,954	141,861	168,817	168,150	667	-	-	-	-	181,932	194,284	181,604	12,680	
16	9,926,363	27,196	9,727,462	9,570,235	157,227	198,901	198,224	677	14,373,377	47,752	14,141,892	13,954,637	187,255	231,485	214,162	17,323	
17	9,856,825	27,005	9,663,740	9,517,399	146,341	193,085	192,585	500	13,687,550	45,187	13,449,570	13,294,278	155,292	237,980	225,698	12,282	
18	10,641,017	29,153	10,427,209	10,250,762	176,447	213,808	213,344	464	16,267,092	46,082	16,019,017	15,773,687	245,330	248,075	227,995	20,080	
19	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

(注)引受郵便物は浦添市内の郵便局窓口で引き受けられたものである。13,14年度は統計収集していない。15年度は配達郵便物の通常普通郵便がデータ不足のため集計がとれない。数値には年賀、選挙、国際を含まない。民営・分社化以降は市町村ごとの物数の公表は行っていない。

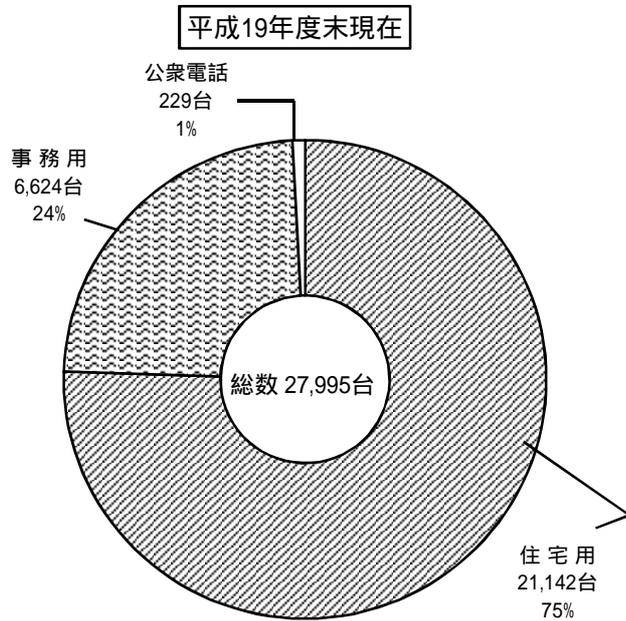
平成16年度以降の冊子小包は引受郵便物の小包郵便物に含まれる。資料：郵便事業株式会社沖縄支社(配達郵便局では通常郵便物に含まれる。)平成18年度配達郵便物については、同年度9月の「集配拠点・郵便貯金・簡易生命保険の外務営業拠点の再編」に伴い、西原町の配達物数が含まれる。

道路、交通及び通信

(52) 本市の登録自動車台数の推移 (P 111参照) (53) 本市の届出自動車(小型)保有台数 (P 111参照)



(54) 種類別、電話の構成 (P 112参照)



(55) 市別郵便機関数 (P 113参照)

